

『輝く雪』のまち

ぬまた町

みんなの議会

2015年8月
第62号

水もしたたる良い男たち!!

北空知連合消防演習

主
な
内
容

- ◎議会構成決まる 2ページ
- ◎保育料50%軽減される 4ページ
- ◎町長の公約を問う **一般質問** 6ページ
- ◎雪中米「宣言」される 10ページ

第2回 臨時会

議長に渡辺氏を選任

副議長に高田氏・監査委員に鵜野氏



総務民教常任委員会

委員	委員	委員	副委員長	委員長
高田	大沼恒雄	杉本邦雄	鵜野範之	久保元宏
勲				

この委員会は政策推進室・総務財政課・住民生活課・教育委員会の所管に関する事務調査及び、議案・請願・陳情等の審査を行います。

今回の所管事務調査は、『空き屋対策』としております。

この委員会は農業商工課・保健福祉課・建設課・和風園・旭寿園・なごみの所管に関する事務調査及び、議案・請願・陳情等の審査を行います。

今回の所管事務調査は、『福祉施設の在り方』としております。

産建福祉常任委員会

委員	委員	委員	副委員長	委員長
高田	津川	橋場	小峯	長原
勲	均	守	聡	誠



議会運営委員会

委員	委員	委員	副委員長	委員長
高田	長原	久保元宏	津川	大沼恒雄
勲	誠	宏	均	雄

この委員会は議会を効率的に且つスムーズに運営するために設置されています。議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を持っています。

定例会や臨時会の日程や運営方法を決め、請願や陳情の付託委員会を決定します。



議会事務局

事務局長

三浦

剛

書記

林

亮太



4月26日に執行された統一地方選挙後の初議会が、5月8日に招集されました。議長に渡辺敏昭氏、副議長に高田勲氏を選任しました。二つの常任委員会と議会運営委員会は前頁のとおり、一部事務組合議会議員等は以下のとおり議会構成を決定いたしました。



議長就任挨拶

沼田町議会議長 渡辺敏昭

町民の皆様方におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと推察し、心よりお喜び申し上げます。

この度の統一地方選挙後の初議会（5月8日）に於いて、多くの議員の皆様方にご推挙いただき、議長の大役をさせていただく事になりました。素よりその器ではありませんが、公正を旨として微力ながら職務に精励する所存でございます。どうぞよろしくお願い致します。

国は「集团的自衛権」から端を発した「安全保障法案」成立への道筋を模索し、「地方創生」の名で地域間の競争をさせ、「TPP締結」を起爆に国の生き残り策を進めていますが、急激な人口減少と1,000兆円を越す借金への対応こそ重要と考えられます。

この事は交付税に頼りながらも、国を構成している地方自治体の衰退や存続に係わる事で、自立を選択した沼田町にとっても、厚生クリニックの改築問題や商業施設の問題など、早急な課題も多く、生産世代を中心とする人口増加対策は必須であります。

議会は高田副議長を委員長に「地方創生調査特別委員会」を発足させ、この難局を町全体の課題と捉えて取り組んでおります。どうぞ、町民の皆様のご理解と御指導を賜ります様、お願い申し上げます。議長就任の挨拶と致します。

一部事務組合議会議員など

沼田町監査委員	鵜野範之
北空知水道企業団議員	渡辺敏昭・高田 勲
深川地区消防組合議員	大沼恒雄
学校給食議会議員	久保元宏・鵜野範之
北空知圏給食組合議員	久保元宏
衛生センター組合議員	小峯 聡
衛生施設組合議員	橋場 守
廃棄物処理広域連合議員	長原 誠
沼田開発公社取締役	高田 勲

沼田町議会議員会

会 長	杉本邦雄
副会長	大沼恒雄
理 事	長原 誠
理 事	鵜野範之
理 事	小峯 聡

森林活性化議員連盟

会 長	長原 誠
副会長	小峯 聡
理 事	橋場 守
理 事	大沼恒雄
理 事	津川 均
理 事	杉本邦雄
事務局長	鵜野範之

議会広報特別委員会

委員長	大沼恒雄	委 員	長原 誠
副委員長	小峯 聡	委 員	鵜野範之
		委 員	高田 勲

地方創生調査特別委員会を設置しました

現在町が進めている「地方創生」まち・ひと・しごと・沼田総合戦略策定作業に対応するため、第2回臨時会において調査特別委員会を設置されました。人口問題など早急な対応が求められています。議会としてもこれらに呼応するため、7月までに3回の委員会が開催されました。委員長には高田勲氏、副委員長には鵜野範之氏が選任されています。



平成27年 第2回定例会 6月22・23日



平成27年度春の地方統一選挙後、初めての定例会が6月22・23日の両日開催されました。

金平町長の町政執行方針、生沼教育長の教育行政報告の後、9氏の一般質問が行われました。

今年度は、選挙の実施年であることから、骨格予算で町政を執行していましたが、町長が決まり、政策予算を組み入れ、当初予算に4億3750万円を加えて43億4281万2千円とする補正予算を承認しました。

上程された主な議案

◎平成26年度一般会計予算繰越明許費に係る報告

繰越額8583万3千円を平成27年度へ繰り越す。主な事業名

「除雪トラック購入事業」
「地域活性化・地域住民生活等緊急支援事業」
「社会保障・税番号制度システム改修事業」

◎沼田開発公社の事業計画及び決算に関する報告

「自動車学校」の平成26年度の決算と平成27年度事業計画が報告されました。厳しい事業内容でしたが、

経営の努力が見られました。

◎平成26年度一般会計補正予算に係る専決処分の承認

不用額と、地方交付税等の増額分を精査し、財政調整基金に1億5000万円、振興基金に4800万円、地域医療確保安定化基金に5000万円積み立てた事を承認しました。

◎条例の新設と改正

町民の定住環境の向上と、町外からの移住を応援する「沼田町に住んで快適暮らし」の満足移住定住応援条例の新設と、国民健康保険税条例の一部改正が行われました。

◎一般会計補正予算政策的予算の概要

移住定住

住んで快適暮らしして満足移住定住応援事業

新田住宅の取得とリフォーム助成に加えて、「子育て世帯」「若者」の持ち家取得に対する支援の充実を

図ります。

・1730万円 補助金
・8000万円 基金積立

移住支援事業

町外移住で沼田町に転入する場合に助成します。

・50万円 補助金

安心子育て

子育て世帯通勤支援事業

町外企業に勤務している子育て世帯に通勤費用を助成します。

・165万6千円 補助金

乳幼児等任意予防接種助成事業

予防接種費用の助成を拡充して、負担の軽減を図ります。

・621万8千円

沼田保育園保育料の軽減対策

保育料を50%軽減して、子育て世帯の負担を軽減します。

・149万5千円

子育て世帯冬季暖房経費助成事業

子育て世帯に対して暖房費1万円を助成します。

・168万円 助成金

産業の活性化

高収益作物生産条件整備推進事業

高収益作物の増棟により、人材雇用に要した経費の助成をします。

・100万円 補助金

農業生産技術等導入実証費助成事業

新たな技術等の導入に要する経費の助成をします。

・100万円 補助金



ひと・まち・しごと

育成支援事業

地域資源を活用して事業化に取り組みに要す備品、機械等の購入助成をします。
・500万円 補助金

安心生活

高齢者世帯等除雪費

助成事業の改正、拡充

玄関前、屋根窓の除雪を業者委託した場合に費用の一部を助成していましたが、所得要件の緩和をし、負担の軽減図ります。
・60万円



防災無線戸別

受信機整備事業

「防災無線」の更新をはかり情報伝達環境の確保を図ります。(市街地区)
・7776万円

沼田厚生クリニック

医療機器整備事業

「臨床科学自動分析装置」の機器更新に補助を行います。
・1044万円

建設事業

町有施設解体工事

旧法務局出張所
・297万円

道路維持工事

・町道更新幹線外ガードケール改修
・町道南通線歩道改修工事
・2000万円

道路整備工事

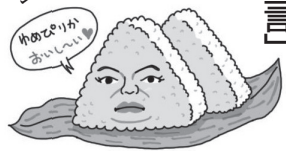
・町道南仲小路線側溝改修工事
・町道達布支線改良工事

第3回 臨時会 5月18日

- *専決処分4件(町税の一部改正・国民健康保険税の一部改正・町葬の執行・平成27年度沼田町一般会計補正予算)を承認しました。
- *ロータリー除雪車購入契約(4,870万円)
- *町長・副町長・教育委員長の給与に関する一部を改正
町長「678,000円」⇒「789,000円」
副町長「604,000円」⇒「642,000円」
教育長「554,000円」⇒「576,000円」に改正されました。
- *議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する一部を改正
議員報酬を平成16年より減額したものを戻し
議員「172,000円」⇒「177,000円」に改正されました。
- *副町長に栗中一弘氏が選任されました。

◎「みんなで食べよう雪中米・宣言」

「雪中米」をたくさん食べて「元気なまち沼田町」を目指します。
詳細は10ページ



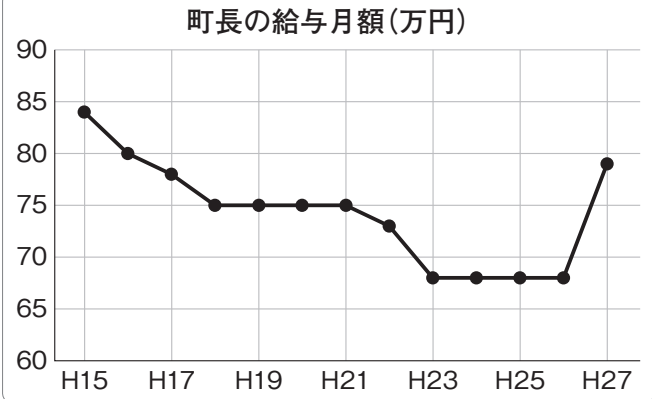
◎人権擁護委員の推薦

人権擁護委員に、徳盛透氏の推薦に同意しました。

◎請願・陳情

・「憲法を守り、日本を海外で戦争する国にする戦争立法の廃案を求める請願」が出されましたが、不採択となりました。
・「安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書」が出され、採択されました。

町長の給与月額(万円)



第4回 臨時会 7月22日

- *防災行政無線更新工事の請負契約(77,004,000円)
- *水道事業会計補正予算
工事請負費(7,906,000円)
新築される認定子供の水量確保による弁天通線配水管改修工事

町長への一般質問

問 2期目を迎えて、公約は何か

答 エコタウン構想の実現と、人口対策に取り組む



高田 勲
議員

問 町長は2期目を無投票で迎えられました、

ため、町民の皆様もその公約を熟知はしていないと思います。具体的な公約は何かを聞きます。

第5次総合計画の前半4年間が終了しました。どのように自己評価しているのか。

金平町長が就任してからの4年間で、約10%の人口減少がありました。それ以前は約8%程度で推移しています。また、直近の2年間は単年で約3%の減少率となっています。近隣の市町と比べても、流出による

人口減少が高い値を示しています。

生産世代や子育て世代への支援施策に不備があったのではないかと。また、今後4年間でどのように対応していくのか聞きます。



町民の皆様が健康で、安心して住み続けられる町を目指したい。具体的にはコンパクトエコタウン構想の実現と、

地方創生で今から取り組む人口減少対策に重点を置いている。

「特定健診」の受診率向上や「小中一貫教育」の推進等の成果は上がっている。



総合戦略会議の様子

企業誘致は実現しなかったが、雇用拡大を図っている会社もあります。

人口減少問題にはいろいろな要因があります。少子化による自然減少や職場の都合、農家戸数の減少もその要因です。

移住定住の諸策は他の市町と比べても劣っているとは思いますが、形になって現れなかった事は残念であり反省すべき点です。

6月予算では、生産世代への応援施策や住宅施策の提案をしています。

問 厚生クリニックは

中心市街地に建てるべきだ

答 旧中学校跡地で住民理解は得られているはずだ



之 範 野
議員

問 コンパクトエコタウン構想は、総額62億円の大プロジェクトです。起債も発生しますし、一般

財源からの持ち出しも高額となります。町政の責任者としてどの程度の事業規模を考えているのか。

最低限必要な規模で事業を進めるとしたら、厚生クリニックは旧中学校跡地でなく中心市街地に建てて

かどうか。病院に来院人がそのまま歩いて買い物が出る環境をつくるべきだと考えるが町長の考えはどうか。

施設の建設を進めていく過程で、住民サービスの低下が懸念されるが、どのように財源確保をするのか。



10年後に高齢者や要介護者がピークを迎えることを考えると、可能な限り進めて行きたい

が、現状を考えたとき28億円程度の事業規模がふさわしいと考えています。

今後必要とされる在宅支

新しいクリニックの建設地は

援を考えたとき、医療だけではなく福祉と介護をしつかりと連携させることが大切

です。病院とデイサービスや介護の包括支援が出来る施設を一カ所に集中させたほうが効果的であると考えています。このことは町民の皆様にも説明し、概ね理解をいただいていると思っています。

財源については地方交付税が減っていく中で厳しい環境にあります。将来をしっかりと見据えたビジョンを国に示して、支援をいただきながらひとつずつ実現していく事が重要です。国の政策等の状況を見ながら次の施設を建設して行くこととなります。

現在の住民サービスを確保するための施設の整備は必要です。町を挙げてしっかりと財源を捻出し、一定の住民サービスを維持していきます。

問 農業振興のために

ハウス助成の検討を

答 農業所得向上のために協議をしたい



小 峯 聡
議員

問 執行方針の中で農業の振興については「みんなで食べよう雪米宣言」の提案と、高収益作物の生産拡大の為に「高収益作物生産条件整備推進事業」で、労働力確保の為に助成金が提案されています。

生産資材が値上がりしている中で労働力確保とハウスの増棟、更新のための助成をすることによってその相乗効果で所得を向上させるべきと考えるが町長としての考え方を聞きたい。



農業者所得の確保に向けて農協や企画班会議、農業総合対策会議などで協議を重ね「高収益作物条件整備推進事

業」を新規に今回予算化しました。具体的には花卉や野菜ハウスを栽培している農業者が生産規模を拡大し、当該作物に対する外部労働として、支出した額の1/2以内で一経営体10万円を上限に支援し、安定した所得が確保できるように考えました。



ミトマトハウス

今後も農協との協議の中で、高収益作物に対してどうしたらいいのか、またさらに協議をしていきたいと考えております。

問 自衛隊官舎を新築してはどうか

答 状況を見つつ判断したい



久 保 元 宏
議員

問 自衛隊官舎は25年を経過し老朽化しています。官舎を含めて隊員の町内在住者は減っています。官舎を新築し、家族で沼田町へ移住していただけるように国に要望してはどうか。

基準では駐屯地から100m未満から2kmまでに拡大して無料官舎となつていますが該当者は何人いるのか。

この機会に陳情、要望活動を重ね町内の官舎が無料になれば自衛隊を支える政策に合致すると思うがどうか。

自衛隊の要望活動の内容と成果を聞きたい。

自衛隊員に沼田に住んでもらう町長のアイデアを聞きたい。



民主党政権時に新しい官舎の建設が一時削減、凍結されましたが災害発生時の即応体制を維持するためにも老朽化などを再度調査しながら要望して行きたいと思っています。沼田の官舎は分屯地から

2・7kmですので無料官舎の対象外ですが、設営された経過、地域事情を含め要望して行きたいと思っています。着隊以来、補助事業などの要望は通っています。町にとつて自衛隊はなくてはならない存在と思っています。その他、施設の拡充、隊員の増員など要望活動に入りたいと思っています。



現在の官舎

問 遊休施設の整理と財源確保

答 計画的な管理と整理の財源を確保していきたい



誠 原 議員
長

施設について、平成25年度に30年以上経過している老朽施設の現状調査を行い、今後も維持か廃止かを内部検討しております。



生活改善センターも遊休状態であります。

金平町長は、6月に行われた町民ふれあい懇談会の中で、10年後を見据えた「農村型コンパクトエコタウン構想」の説明を行いました。

厚生クリニックを中心として各種施設の建設構想が示され、大枠ではあるが、財源の内訳の説明もありました。

説明の中、旧中学校の解体にも多額の経費を見込んでいますが、今は使われていない生活改善センターなど、今後遊休施設の増加が懸念されます。これらの遊休施設整理に伴う財源の確保は出来ているのか、聞きたい。



遊休状態の旧生活改善センター

円程が必要ですが、一般財源になることから現状では実施できません。

全国でも30年経過している老朽施設が増えていて、国は平成26年4月に「公共施設等管理計画」という指針を示しました。

国は、地財計画の中で、起債の充当をさせたい方向です。長期的な視野で遊休施設の管理を行い、財源の確保をしていきたい。

問 マイナンバー制度の周知準備が遅い

答 万全を期して取り組みたい



雄 本 邦 議員
杉

対策等具体的にどのようなしているのか聞きたい。



年金機構の情報流出問題に端を発して、マイナンバー制度は

マイナンバー制度施行による町民の将来におけるリスクと、町行政や中小零細企業の義務、負担など周知準備について町としての見解を聞きたい。

町の業務や民間委託・手続きの進捗度7項目(番号の指定、町条例制定、業者への対応他)・情報漏れなどの不安はないのか。

町職員や関連する民間企業の情報取り扱い義務や負担など、職員チームプロジェクトによる研修や

事業運用開始が平成28年1月ですので、指摘の通り周知期間が短いと思います。町民にわかり易く内容に配慮し継続発行を含め、加速的に取り組んでいきたい。条例改正は9月に議会提案を考えています。職員研修は総務省地域情報アドバイザーにより、1市4町で昨年8月実施しています。

マイナンバー 社会保障・税番号制度

国民生活を支える社会的基盤として、社会保障・税番号制度を導入します。



マイナンバー

杉本議員のその他の質問

問 新電力の調査・削減の検討をしているか

答 調査の実施と合わせて、経費削減に努めています

問 安保法制は反対だ

答 慎重に議論してほしい



橋 場 守
議員

問 「戦争」と「武力行使」は国際紛争解決する手段としては永久に放棄すると憲法9条で宣言しました。

衆議院憲法審査会で自民党推薦の人も含め、3人の学者全員が安保法制は憲法違反だと発言しました。

安倍首相は、積極的平和主義だと、戦争法案を出してきたが、憲法9条の精神を世界に広める事こそ積極的平和主義ではないか。

東南アジア諸国連合10ヶ国は「紛争を戦争にしない」ことを決めて、年間14回も話し合いを持っています。町民の生命を守る立場で戦争反対の発信ができないか。



憲法9条はすばらしいと理解していますし、平和も愛しています。

安保法制の問題については国会で色々と議論されています。

国民にとって大事な問題ですので、慎重な審議と、徹底した議論をして頂きたいと思っています。

橋場守議員のその他の質問

問 自治体消滅の原因、責任を議論する必要がある

答 介護、福祉、医療など、国に訴えている

問 給食費の公費負担ができないか

答 現状では難しい

問 町営バスの運行時間を変更できないか

答 検討します



津 川 均
議員

問

沼田町の現在の高齢化率は40%を超え介護認定者も251人です。10年後には50%の高齢化率に達し認定者数も331

人を超えると推計されています。現在の本町の介護サービスは、訪問介護や通所介護など他市町村と変わらないサービスをしています。もう一歩踏み込んだ独自のサービスを考えてはどうか。さらには介護保険料が4500円になったが、全道一安くする事が、インパ

問 沼田独自の介護サービスを

答 コンパクトタウンとリンクさせたい

平和安全法制整備法案

法改定 ※10本の現行法をひとまとめ

- ① 武力攻撃事態法 (新設する存立危機事態に対応)
- ② 米軍行動関連措置法 (同)
- ③ 海上輸送規制法 (同)
- ④ 捕虜取り扱い法 (同)
- ⑤ 特定公共施設利用法 (米軍以外の外国軍隊も対象に)
- ⑥ 国家安全保障会議設置法 (存立危機事態なども審議対象に)
- ⑦ 周辺事態法 (地理的概念をなくし重要影響事態法へ改定)
- ⑧ 船舶検査活動法 (日本周辺の海域に限らず適用可能に)
- ⑨ 自衛隊法 (武器使用基準の大幅緩和など)
- ⑩ P K O協力法 (P K O以外の活動にも参加可能に)

新法

- ① 国際平和支援法案 (外国軍隊支援のため自衛隊を随時派遣可能に)

政府が国会提出した安保関連法

津川均議員のその他の質問(教育長)

問 小中貫教育における道教委の規制はどう変わるのか

答 道教委も好意的な対応をしてくれています



トが有ると思う。コンパクトタウン構想と上手にリンクすれば老後も安心して暮らせる町としてアピールできると考えるが、町長の考えを聞きたい。



私たちが医療、介護、福祉の問題

に取り組んでいる要因は、10年後を想定しています。地域包括ケアの拠点として、病院とあんしん館とデイサービスという形の総合施設で、取り組みたいと考えています。

沼田独自の介護サービスも必要と認識しています。

コンパクトエコタウン構想と介護問題をリンクさせて、安心して沼田町で生活できる町づくりをして行きたいと考えています。



地域の維持管理
を担う建設業者の

問 平成26年6月27日に
閣議決定された中小企
業者に関する国等の契約方
針の中に「業者の経営基盤
強化を図るため受注の機会
の増大のための処置を講じ
る」「地方公共団体にも受
注の機会の増大のための処
置を要請している」とあり
ます。このことは分離分割
発注の推進と思います。指
名競争入札は行政側に大き
な裁量権があるので、町内
における第二次産業の育成
についての見解を含め今後
の入札や発注の在り方、既
存の道路維持、製造業者の
製品の取扱について聞かま
す。



大沼恒雄
議員

問 第二次産業の育成をどうするか
答 第二次産業の育成に務める

育成は町内の安全を守ると
いう意味からも重要です。
発注形式は予算、工事規
模を考慮して検討したい。
道路維持は町道185路
線、75橋を管理、定期的な
点検において維持補修を計
画的に行っていく。
製造業者が扱っている製
品を町内の工事に使うのは
当然なので、今後も留意し
て町内の第二次産業の育成
に努めたいと考えています。



地元業者による野球場改修工事

傍聴席の生の声

新しい議員と理事者との質疑、アンプの調子も
改善され、次回からも楽しみです。70代・男性



今回の定例議会の傍聴者は、43名でした。

みなさまの傍聴を待っています。

みんなで食べよう雪中米!宣言

沼田町の大自然とミネラル豊富な雪解け水、肥沃な大地で育った、沼田ならではの「雪」を利用した世界初の「雪中米」をたくさん食べて健康で元気な生活を送るとともに、「雪中米」を広く発信していくことにより、沼田農業の発展につなげ、何時までも「元気なまち沼田町を目指すため、ここに「みんなで食べよう雪中米!宣言」をいたします。

1. 私たちは、「雪中米」を食べて元気で幸せいっぱいを送っていきます。
2. 私たちは、未来を担う子供たちに雪中米のおいしさを伝えていきます。
3. 私たちは、おいしさ世界一を目指す雪中米を広く発信していきます。
4. 私たちは、沼田農業をまちの宝とし、誇りと挑戦で発信させていきます。

議員セミナーを開催

6月10日

5月1日より始まった新体制のもと、初めての議員セミナーが開催されました。このセミナーは、総務民教・産建福祉の両常任委員会の共催で実施され、議員の見識を高めることを目的とし、一年間に数回実施されます。今回のセミナーでは、管内の行政視察をおこないました。

●からだラボ深川

この施設は民間で行っているリハビリ特化型の通所介護施設で、特徴としては「レッドコード」と言う赤いひもを使って自らの体重を使い無理なく、安全にリハビリができるものです。利用者が一番人気の訓練メニューとの説明を受けました。



●北空知圏学校給食センター

きたそランチー
長谷川事務局長により、本年4月6日より稼働がはじまった経緯と施設の概要説明があり、その後施設の視察と合わせて給食の試食を行いました。週4日が米飯で1日が麺又はパンです。材料は地産地消で米は管内JAより納入されています。



●コミュニティデイサービス

「みんカフェ」「みん茶屋」

深川市音江にあるこの施設は、(株)みんソラが経営する民間の小規模通所介護事業所です。既存のデイサービスと異なり、自立支援型や物づくりを通じた体験型、世代を超えた地域参加型のデイサービスです。

●農村公園野球場

平成26年度施工の農村公園野球場は芝生の養生中との説明がありました。7月の使用開始が待たれます。



議員研修

道町村議会議員研修

7月7日、札幌に於いて北海道町村議会議員研修会が開催され、全議員が参加しました。

前段は中央大学名誉教授今村都南雄氏による「地方議会を取り巻く最近の動向」の講演がありました。「議会改革」の考え方と「地方創生」に議会がどうかかわるかの講演でした。

後段は、テレビ朝日コメンテーター川村晃司氏により「これからの政局・政治動向」において女性の参画、JA改革、安保法制の考え方などの講演でした。



新任町村議会議員研修

7月21日、札幌市において北海道町村議会新任議員研修会が開催され、当町議会から小峯議員が参加しました。

講師に北海道町村議会議長会の事務局長である村川寛海氏により、議会運営の基本、議員の使命、議会の原則など議員活動の基礎となる事柄のレクチャーを受けました。

空知町村議会議員研修

7月23日、月形町に於いて空知町村議会議員研修会が開催され空知総合振興局地域政策部戦略策定支援担当部長藤島京子氏「地方創生総合戦略を考える」の講演がありました。



北空知議会議員研修

7月28日、北空知1市4町による議員研修が北竜町で開催されました。

「自治功労者町村議会表彰」

この度、杉本議員が道議会議員会自治功労者表彰を授与されました。

議会議員として25年以上による授賞あります。定例会議前、議場において伝達が行われました。12月の「社会貢献賞」4月の「全国自治功労者表彰」に続き、連続の授賞です。



議会広報「みんなの議会60号」が全道特選になりました。第36号、第48号に続き、みたび最優秀賞授賞となりました。「町民の皆さんに、見て読んで頂きたい」その思いを基本に編集、発行してきました。今期の広報委員もこの授賞を契機として、多くの町民に読んで頂ける



広報誌を目指して行きたい
思いです。

あとがき

町議会議員選挙が終って初めてのみんなの議会の作成です。

新しい議会広報特別委員が選出され4回の打合せの後に印刷して出来上がりました。

何年もやって慣れてい
る方が多いので比較ス
ムーズに進みました。

議会広報平成27年第60号が特選を受賞しましたので、かなりプレッシャーがかかりました。今回の広報はいかがでしょう

か。
話は変わりますが、今年6月に入ってもなかなか気温が上がらず寒い
くらしい日が続いて農作物の生育も遅れ気味になって
います。このままでは遅延型の冷害になる可能性が
あります。8月の天候が暑い日が続くのを
祈るばかりです。

広報特別委員

大沼恒雄 長原 誠
小峯 聡 鶴野範之
高田 勲

みんなの広場

ずっと「支える」



沼田町社会福祉協議会会長 津川 郁夫

私は、毎朝役場庁舎前でのラジオ体操に参加していますがいつも目につくのが正面玄関の上に掲げてありますスローガンです。

ずっと「支える」 もっと「はばたく」です。

沼田町の高齢化率は40%を超え、このスローガンのように高齢者同士が支え合うことが絶対条件になるのではないのでしょうか。

高齢化の高まりを背景に顕在化する孤独死や特殊詐欺被害などを防止するため「向こう三軒両隣」で近所の家と久しく付き合い何か変った事が無いかそれとなく見守りお互いずっと支え合うことが大切になってくるのではないかと思います。

平成22年からスタートした高齢者等見守りサポート事業を「はあとふる沼田」は支え合いの典型的な事業であり、みんなの協力のもとで、この機能を最大限生かし活動しなければならないと考えます。

これからは、町と社会福祉協議会が連携して福祉事業を推進してゆき 「みんなが安心して暮らせる町に」なるよう微力ながら100分の1でも役に立てればとおもっています。

追記 私の座右の銘

毎日の中で一番むだに過した日は笑わなかった日です。

一日一回は健康のために笑うように心掛けましょう。